

「校歌」で知る ソフィアの過去と未来



上智大学に「校歌」が生まれたのは1932年。

それから約80年間、数多くのソフィアンがこの歌を歌い継いできました。つまり、このキャンパスで学んだ私たちには、性別年齢の差を超えて校歌に対する思いが共通して流れてきたのです。そしてそれは、何を意味しているのか。今までだれも気にしたこともないその“校歌の血脈を、創立100周年の今、まじめに考えてみようと思います。



最初の楽譜。「歌校」の下に SOPHIA DAIGAKU-HYMN の文字。

上智の校歌は、讃美歌 (hymn) だった？



408 教室に50年もの間置き去りにされている、世界三大ピアノのひとつ

「Bösendorfer (ベーゼンドルファー)」。たぶん、上智創立時からあったであろうこのピアノが今、蘇る

【当日の内容】「校歌の歴史をたどる—ソフィアの新姿を発見」／80年前を再現—Bösendorfer の伴奏で校歌を合唱／「学生歌」の二部楽譜を初披露、etc....

10月19日は、1号館408教室へどうぞお越しください